

令和5年度

## 第1学期 始業式 式辞

砺波市立庄川中学校

今朝、教室から楽しい声が聞こえてきました。始業式の表情からは「よし、今年度もがんばるぞ」という気持ちが伝わってきました。前校長からは、「素直で明るく、何事にも真剣に取り組む素晴らしい生徒たちである」とよく聞いています。

さらに皆さんのことが知りたくなり、先生方に、「庄中生について、教えてください」とアンケートを採りました。

よいところは、学習で発言者の話をよく聞いて、理解を深めようとするところ、ペアやグループ学習で、協力して取り組み、話し合いを深めていけるところだと教えてもらいました。また、困っている人に優しく、部活動にも一生懸命に取り組んでいて、技術や体力を高めていると聞きました。あいさつやボランティアも活発だと聞いて、とても嬉しくなりました。

その一方、アンケートを進めていくと、次のような弱い部分もあることが分かりました。仲間と協力したり、活動したりするときには、大きな力を発揮できるけれど、例えば、個人の家庭学習の取組は、もっとできるのではないか、また、自分で物事を決めたり、気付いてよりよいことを判断したりして行動に移す力がもっと付くと、さらに伸びるのになあ、という声がいくつも聞かれました。集団のために力を発揮できるけれど、自分のために力を出すことについて、さらに努力していく必要がある、ということです。



そこで、今年の庄川中学校が重点的に取り組む目標を決め、先生方と共通理解を図りました。今日は皆さんと共有します。先生方は皆さんが取り組めるように工夫していきます。皆さん自身も意識して取り組んで欲しいと考えています。

目標は「自ら気付き、考え、行動する～「なりたい自分」を目指し、仲間とともに自らを鍛え磨く生徒～」です。「なりたい自分」とは、めあてをもって取り組み、実現した姿です。たとえば、ソフトテニス部の人がかットサーブを100%成功させること。勉強で自主学習をノートに毎日続けていくこと等、そんな姿が「なりたい自分」です。もしかしたら、人とのSNSを毎日20分でやめる姿、というのもあるかもしれません。なりたい自分に向かって、自分を鍛えて磨いていきましょう。「なれたらいいな」では、前に進むことはできません。なりたいと強く心に念じ、実行していきます。

中学生時代は、いろいろなことに挑戦し、うまくいかない苦しさ、悔しさを味わう時期です。挑戦のないところに失敗はありません。なんとかできるようにならないかと、粘り強く工夫して取り組んでいくことで、技能の向上はもちろん、たくましく、豊かな心が育っていきます。自分一人だけが悩んでいる訳ではありません。なりたい自分を目指している、多くの庄中生が仲間です。みんなで一歩前進、向上を目指していきましょう。

よりよい行動はなにか、自ら気付いて考え、実行に移し、自立した庄中生に成長してくれることを期待しています。